

六小・富士便り

開校55周年

国立市立国立第六小学校

校長室便りNo.8

令和7年(2025年)10月8日

5年生の授業公開を実施します。

9月19日(金)道徳授業地区公開講座の日に実施できなかった5年生の授業公開について、すでにお知らせしておりますが、日程は以下の通りとなります。

10月15日(水)【1校時から3校時】といたします。

ご協力をいただきました5年生を中心とする保護者及び来校者の皆様のご理解とご協力に対して、心から感謝申し上げます。お陰様で、感染症の拡大予防等については、一定の効果があったと思っております。誠に、ありがとうございました。

日常的な授業参観

これまで六小においては、保護者の皆さまの日常的な授業参観について、ご来校いただき、ご覧いただけるようにしてきております。これからにおいても、お子様の様子や学年・学級の様子など、ご参観いただければと思います。



参観される際には、担任に予めお知らせいただけますと助かります。日程によっては、校外学習等で、ご希望に添えない場合もございます。何卒、お知らせいただけますようお願いいたします。

研究授業を通して

教員の職務には、様々なものがありますが、やはり一番大事にしなければならないのは、毎日の授業です。「教員」という言葉には、漢字の「教」の意味として「教える」、「員」の意味として「役をもった人」という意味が示すように、【授業を通して教えたり学ばせたりする役をもっている人】が教員と言えます。

六小の先生たちも、教員として、様々な機会を通して授業力の向上に挑戦しています。例えば、先日も図工において研究授業を行いました。東京都で図工の研究をしている先生方が集まり、言葉(詩)と図工をコラボさせ、子供たちのイメージを高めることで図工の創造力を高める研究に挑戦しました。

また、校内研究では、2年生が生活科の町探検の研究授業を行い、高い関心や意欲をもっている子供たちが多いことが分かったり、子供たちのもつ思いや願い、質問などをたくさんもつことができる指導の工夫を学んだりすることができました。

更には、六小の他の先生たちにおいても、道徳の研究授業や総合的な学習の時間等、自分たちの授業力を高め、子供たちが楽しく学習に向き合いながら、学習活動に取り組めるよう様々な手立てや工夫を学んでいます。



私もこれまでたくさんの研究授業や研究発表会に挑戦してきました。

初任者の時には、国語の研究授業と研究発表会、2校目では、生活科の研究授業と生活科・総合的な学習の時間の研究発表会、道徳の研究員としての研究授業と地区発表会、3校目では、再び国語の研究発表会、4校目では、算数の研究発表会、(5校目では機会なく)6校目では、道徳の研究発表会と、授業力を高めるために学ぶ機会を得てきました。

全て、子供たちが楽しく学ぶことができるように挑戦したものです。

授業が変われば、子供たちも変わります。そして、子供たちが変われば、学校も変わってきます。

よりよい第六小学校にしていくために、これからも授業力の向上に向けた挑戦をしていきたいと思います。教員の挑戦に、温かい励ましをいただけましたら有難いところです。

よろしくお願いいたします。

全校遠足に行ってきました！

本校では、全校遠足として立川にある国営昭和記念公園に行っています。今年度のテーマは「つながり」です。先日の10月3日（金）に南武線から青梅線に乗り換え、昭和記念公園まで行ってきました。



学年・学級・たてわり班と様々な形態や取組を変えながら、自分の役割に挑戦したり、仲間となかよく助け合いながら遊んだりして、学校生活をよりよいものにするための取組として行っています。また、公共交通機関や公共施設の中での行動や態度などについても、どのようにすればよいかを考えさせたり、取り組ませたりするようにしています。

教職員もそれぞれの担当する学年等に分かれて、子供たちが安全に全校遠足に行き、楽しく過ごしながらも無事に学校まで戻ってくることを目指して、力を結集して対応してまいりました。

子供たち一人一人がそれぞれの力を出しながら、学年・学級の仲間や異学年の仲間との交流や活動を通して多くの経験や体験をし、積み上げていくことによって、子供たち自身が次の学年になった時に活かされる、関わり方や取り組み方等の土台となってほしいと願うところです。

本校には、六小サポーターや育成会、PTA、学童見守り会等々と様々な支援の力があり、たくさんの経験や体験を得られる場があります。様々な場で得られる、生きる力の土台となる経験や体験を、学校の教育活動と連動させながら、子供たち一人一人の力をその子どもなりに付けていけるよう、来年度以降の六小の姿を見極めていきたいと思います。

最後になりましたが、今回の遠足で、PTA から提供いただいた六小バンダナと、これまでの学年が持っていたバンダナを付けたことにより、六小の子供たちの安全を図ることができました。PTAの皆様、本当にありがとうございました。



【校長のつぶやき】

これまで教員として、担任として取り組んだり、算数指導の専科教員をしたりと直接子供たちに関わることや、主幹教諭として学校全体の運営をしてきたこと、副校長として教員の先生方と学校を支えてきたこと、そして、校長として理想の学校を目指して取り組んでいること、全てに共通するのは、人を育てることの嬉しさと楽しさです。

子どもとの直接的な関わりにおいて、目の前で成長する子どもの変化や変容は、もちろん嬉しいことですが、卒業した後に様々な活躍したり、自分の理想とすることに頑張ったりする姿や便りをもらったときには、本当に感動を覚えます。教員をすることの醍醐味を実感する瞬間です。

また、それは、子供たちだけでなく、自分が関わった先生や職員の皆さんの成長や活躍も、本当に嬉しいものですし、やり甲斐を感じます。これまでに自分の立場は、その時々で変わりましたが、この「人を育てる」部分においては変わりありません。これからも大切にしていこうと思います。

その関わった人の中には、世の中で活躍し、ネットやテレビで見ることができる人もいます。自分の生き様を大切に、地道に務めている人もいます。なかなか思い通りにいかず、少し休んでいる人もいます。どの人たちも、大切な人たちです。ずっと見守り続けます。